日本青年国際交流機構（IYEO）

北信越ブロックかわら版　Vol.3　（2026夏号）

目　次

１　ブロックイベント

令和６年度（2024 年度）　北信越ブロックイベント長野大会 2025

２　内閣府青年国際交流事業地方プログラム

（１）新潟県 IYEO　令和７年度「国際社会青年育成事業 イタリア」

（２）富山県 IYEO　令和７年度「東南アジア青年の船事業」

３　各県自主活動

（１）石川県 IYEO

・「国際交流×料理」

（２）富山県 IYEO

・国際交流フェスティバル in TOYAMA ブース出展

・国際交流フェスティバル 2025 in TOYAMA ブース出展

・令和８年度内閣府青年国際交流事業説明会および帰国報告会

（３）長野県 IYEO

・English Cafe

・ワールドフェスタ出展

・English Cafe クリスマス特別企画

・「ワールドキャリアカフェ」

４　寄　稿

・2024 年度第 36 回「世界青年の船」事業への参加

前田　ジャスパー（福井県）

・2025 年度第 37 回「世界青年の船」事業への参加

根岸　知世（富山県）

・「白山市の小学生とデンマーク の青年の国際交流合宿」

能瀬　仁美（石川県）

・「青年の船」下船から５０周年を迎えて

～第８回青年の船 50 周年記念東京大会～

川除　新一（富山県）

・第４回世界青年の船リユニオン

『32 周年ハンガリー・ブダペスト』＆『5 月 10 日 ありがとうにっぽん丸』

日南田　美幸（富山県）

・2025 年大阪・関西万博と「世界青年の船プログラム」

日南田　美幸（富山県）

・IYEO 都道府県幹事退任のあいさつ

樋口　敦子（長野県）

５　お知らせ

６　能登半島地震報告

「令和 6 年能登半島地震」による被害に対する寄付金についてお礼

７　「にっぽん丸」引退　（2024 年夏から 2026 年夏）

Ⅰ　ブロックイベント

令和６年度（2024 年度）
青少年国際交流を通して国際社会や地域社会への貢献を考える
つどい
北信越ブロックイベント長野大会 2025
「ワールドキャリアカフェ 2025～海外経験を長野で活かす～」
開催日　2025 年 3 月 2 日
場所　　長野市のリノベーション施設「R-depot」
参加者　95 名
「留学や国際交流事業等の海外経験は、海外や大都市圏だけでなく長野等の地方都市でも活かすことができる」ことを示し、長野県内の次世代の人材育成に繋げることを目的に開催しました。

◆スケジュール
13:00～13:10　第Ⅰ部　開会式
13:10～14:10　基調講演
「自分は何者で、どこからきて、これから
どこへ向かうのか」
講師　志賀アリカ氏
小布施町立図書館長
14:20～15:10 パネルトーク
「海外勤務、JICA 青年海外協力隊、
留学などの経験を長野で活かしている方
のリアルな声を聞く！」
15:10～15:40 パネリストとのカフェ交流会
15:40～15:45 第Ⅰ部　閉会式

15:50～ 第２部　開会
15:50～16:00　内閣府青年国際交流事業の概要説明
16:00～16:15　事業参加報告
16:15～16:25　長野県青年国際交流機構　活動報告
16:25～16:55 まとめのカフェ交流会
16:55～17:00　閉会挨拶

２　内閣府青年国際交流事業地方プログラム受入れ

（１）新潟県 IYEO

令和７年度　国際社会青年育成事業 イタリア

実行委員長　田窪　美帆

「障がい者」分野がテーマで、実行委員に専門者がいなく当初プログラム組立に悩みましたが、内閣府や県の協力により充実した施設訪問・体験をイタリア青年に届けることができ、とても良かったです。

また我々自身も、準備や現地訪問を通して、障がい者分野について学びを深めることができ、貴重な経験となりました。障害のあるなしに関わらず、ひとりひとりが自分らしく過ごせる社会を一緒につくることが大切だと実感しました。イタリア・日本お互いの良いところを取り入れ、今後更に発展していくことを期待しています。

表敬訪問

歓迎レセプションでの青年パフォーマンス

ローカルユースと一緒に、障がい者就労支援施設のカフェでバリスタ体験

障がい者スポーツ支援施設の利用者とボッチャ体験

ローカルユースと一緒に、障がい者就労支援施設で、ディスカッション

新発田城を散策

最終日　ぶどう狩り体験

スケジュール　令和７年９月19日（金）～23日（火）イタリア青年　８名

月 日	日　程
9月19日（金）	越後湯沢駅　到着 　　バス内でオリエンテーション テーマ別施設訪問① 十日町市立十日町小学校 　　授業見学 　　学校紹介、校内見学 　　給食 　　児童と交流 　　懇談、意見交換 新潟県庁 表敬訪問 県よりレクチャー： 　　新潟県の概要　パンフレット・動画 　　障害者分野に関する行政の取り組み・特色 万代シルバーホテル　到着 歓迎会 ホームステイ開始
9月20日（土）	ホームステイ
9月21日（日）	ホームステイ ホストファミリーと昼食 新潟県障害者交流センター　集合 テーマ別施設訪問② 新潟県障害者交流センター 　　施設紹介、見学 　　利用者との交流（ボッチャ） ホテル　到着　チェックイン ホテル周辺で自由夕食
9月22日（月）	朝食 テーマ別施設訪問③ 社会福祉法人とよさか福祉会 豊栄福祉交流センター　クローバー 　　施設見学、利用者との交流 同施設内　ドンバスコーヒーロースターズにてローカルユースとのディスカッションプログラム 同施設内　喫茶くろーばーにて昼食 新発田城　到着 　　見学、周辺を散策 清水園　到着 　　見学 　　五階菱へ移動、施設内の大倉庭園カフェで休憩 　　自由散策、買い物 ホテル　到着 ローカルユースとの自由夕食（ホテル周辺）
9月23日（火）	白根グレープガーデン 　　ブドウ狩り体験 新潟ふるさと村　到着 2Fレストラン番屋亭で昼食 　　自由散策、買い物 新潟駅　出発

（２）富山県 IYEO

令和７年度「東南アジア青年の船事業」受入れ

実行委員長　森田　美咲

令和８年１月 17 日～20 日、富山県にて「令和７年度東南アジア青年の船（第 49 回）」の地方プログラムを実施しました。第 44 回事業に日本青年として参加し、「いつか地元・富山で SSEAYP を迎えたい」と夢見ていた私にとって、富山駅の改札で青年団を出迎えた瞬間、当時の思い出や本事業への想いがこみ上げ、「本当に SSEAYP が富山にやってきたんだ」と胸が熱くなりました。

富山県プログラムでは、２泊のホームステイをはじめ、富山県庁への表敬訪問、「富山市ガラス美術館」や「ますのすしミュージアム」の見学、「富山ガラス工房（フォトフレーム）」や「（株）タニハタ（組子細工）」での制作体験、「富山大学」や「富山市立中央小学校」での交流活動など、富山ならではのものづくり文化や食、ローカルな交流を楽しんでもらえたのではないかと思います。

特に交流活動では、国際交流のきっかけを地方でも広げたいという想いから、中高生ではなく小学生を対象に調整し、体育や書道、日本の遊びなどを一緒に体験しました。言葉が完璧に通じなくても「外国の人と交流できて自信がついた」と笑顔を見せる児童の姿に国際交流の可能性を感じると共に、青年たちからも「子どもたちの目から、伝えたいことがたくさんあるのが伝わってきた。」「ASEAN 諸国について熱心に学ぼうとする姿が素敵だった」との声があり、小学生だからこそ生まれた Heart-Warm な交流ができました。

最終日には別れを惜しむように雪が舞い、外国青年たちは富山の冬を満喫しながら東京に旅立っていきました。

今回の富山県プログラムの円滑な実現にあたって、ご協力いただいたホストファミリー、訪問先のスタッフの方々、実行委員のメンバー、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。また、実行委員として再び本事業に関わったことで、そのスケールの大きさ、裏で尽力・調整されている方々の存在に改めて気づき、感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも、SSEAYP をはじめとする内閣府の青年国際交流事業を通じて、多くの青年が世界へと羽ばたき、また、既参加青年が「Once PY」をアイデンティティにローカル・グローバルに活躍されることを祈っています。

【参考：富山市立中央小学校ホームページ　学校日記（抜粋）１年生・６年生】

１年生：https://swa.toyama-city.ed.jp/toyama068/weblog/134266411

６年生：https://swa.toyama-city.ed.jp/toyama068/weblog/134269389?tm=20260120112735

スケジュール　　令和８年１月 17 日（土）～20 日（火）　　37 名

月　日	日　　程
1月17日（土）	富山駅　着 「富山市ガラス美術館」見学（50分） オリエンテーション　（富山市国際交流センター） ホストファミリー対面式 青年引き渡し完了
1月18日（日）	終日ホームステイ
1月19日（月）	県庁表敬訪問 「源ますのすしミュージアム」見学・昼食 富山市立中央小学校訪問（交流活動）　13:00～14:00 「富山ガラス工房」見学・ガラス工芸体験（体験15:00～16:00） 地元青年（富山大学生）との交流会・懇親会 　（富山大学本店食堂）
1月20日（火）	組子細工 ㈱タニハタ 視察 ・ＳＤＧｓの取り組みについて講義　・組子づくり体験 富山駅出発

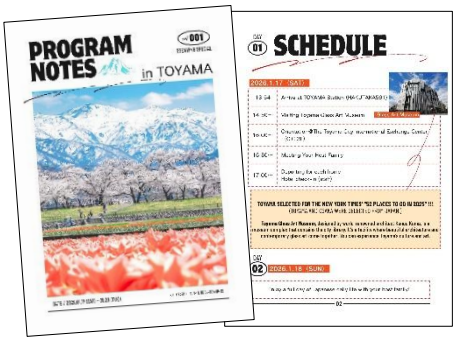
富山県庁表敬

小学生との交流

日本伝統文化
組子タニハタ見学

富山大学学生との交流会

源ますのすし
ミュージアム見学



青年用パンフレット
プログラムノート

３　各県自主活動

（１）石川県 IYEO

「国際交流×料理」

開催日　2024 年 7 月 26 日(金)
石川県 IYEO&薄井青果協賛
学生チームころころが月に１度金沢大学で開催
今回は、日本、タイ、インドネシア、中国、韓国の５カ国から合計 16 人の学生が参加
今回のテーマ「夏に食べたい野菜料理！」
薄井青果協賛の石川県加賀の味平かぼちゃ、天空の白菜、天空のキャベツ、究極のだるま芋、しいたけ、イタリアントマト、石川県の青りんごとその他乾燥野菜などを使用し豪華なメニューに！
野菜たっぷりの天ぷらに、トマトのミネストローネスープ、しいたけ香る中華スープに、りんごたっぷりアップルパイまで！
参加した学生みんなで、どうしたら美味しく調理ができるか話しあいながら、作ることができました！
料理を通して交流もすることができて、最後に料理を食べる頃にはみんなとっても仲良くなっていました。
それぞれの出身国の料理や野菜についての話もできてとっても有意義な時間になったと思います。

（２）富山県 IYEO

国際交流フェスティバル in TOYAMA ブース出展

開催日　2025 年（令和 7 年）2 月 2 日（日）
場　所　オーバード・ホール/中ホール

国際交流フェスティバル、ブース出店しました。100 人を越える人が立ち寄ってくれました。内閣府の国際交流事業と富山 IYEO の活動について、説明などしました。興味を示して、話を聞いてくれる人もいて嬉しかったです。どなたか応募してくれると嬉しいなあ。

国際交流フェスティバル 2025 in TOYAMA ブース出展

開催日　2025 年（令和 7 年）11 月 2 日（日）
場　所　オーバード・ホール/中ホール

今年も「国際交流フェスティバル」にブース出展しました。
内閣府の国際交流事業、当団体の活動紹介、そして、1 月にある東南アジア青年の船事業とホストファミリー募集について説明させてもらいました！
たくさんの方に興味もってもらえたのが良かったです！富山市長も来てくださいました！！
国際交流の輪をどんどん広げて行きたいです！

令和 8 年度内閣府青年国際交流事業説明会および帰国報告会

日　時　2026 年 4 月 12 日（日）14：00～15：30
場　所　星槎国際高校富山学習センター（オンライン併用）
　　富山市新富町 1-2-3　CiC ビル 5 階
発表者
　「世界青年の船」　　根岸　知世さん
　「東南アジア青年の船」　葛生　直希さん（オンライン）

内閣府の国際交流事業説明のあと、帰国報告会として、富山県から世界船に派遣された根岸さん、また東南アジア青年の船に参加した葛生さんから発表がありました。お二人とも素晴らしい発表で、船に乗ったことで人生が変わった，大きく成長でした、と話していました。

（３）長野県 IYEO

English Cafe 第 96 回

開催日　2025 年 4 月 15 日(日)
ペルーからの留学生を含む信州大学院で建築を学ぶ
２人からお話を聞きました。

2025 年 3 月にミャンマー中部を震源とする大地震が発生しました。長野県 IYEO はこれまで東南アジア青年の船の受け入れ活動でミャンマー青年と交流したり、長野県に住むミャンマー出身の方と一緒に活動したりしてきて、ミャンマーはこころの距離が近い国の一つと感じます。長野県 IYEO としてなにができるか考え、４月の English cafe の参加費を日本赤十字社「2025 年ミャンマー地震救援金」に寄付しました。

ワールドフェスタ出展

開催日　2025 年 11 月 1 日（土）
場　所　長野市セントラルスクウェア
長野県 IYEO メンバーのひとりが JICA 海外協力隊として滞在したブラジルのアリアンサ村（約 100 年前に長野県民が開拓した村）を紹介するとともに、来場者の皆様に世界のクイズとサッカーゲームを楽しんでいただきました。ブラジルに滞在していた長野県 IYEO メンバーは、もともと大学生時代に東南アジア青年の船のローカルプログラムをはじめとした様々な活動に参加していた方で、その後社会人になってから JICA 海外協力隊に応募し、活動しました。内閣府青年国際交流事業の OBOG だけでなく海外に興味がある地域の若者と一緒に IYEO 活動をすることで、長野から世界にはばたく青年の後押しができるのは嬉しく思いました。

English Cafe クリスマス特別企画

開催日　2025 年 12 月 21 日(日)
イギリス出身のヘンダーソンギブジョウジアナさんから
クリスマスのお話をお聞きしました。

「ワールドキャリアカフェ」

開催日　2026 年 6 月 6 日（土）
場　所　長野市 R-depot
マラウイで看護師として活動し、帰国後は国際緊急援助隊として従事した方がスピーカーで、「資格や経験を世界で活かすという選択～JICA 海外協力隊から広がったキャリアの可能性～」と題して、看護師になるまでの幼少期からの生い立ちや、マラウイでのリアルな活動のお話、そして国際緊急援助隊としての活動についてお話しいただきました。

４　寄　稿

内閣府青年国際交流事業参加者からの報告　～福井県小林会長より

福井県より内閣府青年国際交流事業に参加された前田ジャスパーさんから、事業で得た経験とそれを今後にどう活かしていきたいかをうかがいました。紹介したいと思います。

2024 年度　第 36 回世界青年の船事業参加

前田ジャスパー（福井県）

内閣府青年国際交流事業で私が得たものは、「誰も答えを用意してくれない場所で、逃げずに考え続ける力」です。共通する思想や背景をほとんど持たない若者同士が本気で向き合う空間では、自分の意見が簡単に通ることも、他人の意見に安易に乗ることもありませんでした。意見が衝突するたびに前提が揺さぶられ、自分の根幹だけを頼りに対話を重ねました。しかしその揺らぎから目を逸らさなかったからこそ、違いは障害ではなく、構想を深める燃料になり得ると知りました。

現在、私は大学で国際仲裁を学び、口頭弁論や書面作成に取り組んでいます。

交流事業で身につけた思考の姿勢は、特別な経験としてではなく、日常の判断基準として息づいています。

対立を解消するのではなく、相反する前提そのものを抱え上げ、より高い地平へと止揚する。利害や理想が交差する瞬間こそ、思考を鍛え直す好機だと学びました。相手を打ち負かすのではなく、前提を持ち寄り、より大きな枠組みに組み替える。その過程で生まれる摩擦は、やがて熱を帯び、前に進む推進力へと変化します。

私はこれからも、すれ違いから生まれる創造の熱を、次の構想へと昇華させられる人物でありたいと思います。

いかがでしたでしょうか？　世界青年の船事業で得た経験と熱い思いが力強いメッセージとして現れています。これからの彼に期待しながら、IYEO のメンバーとして共に頑張っていきたいと思います。

2025 年度第 37 回「世界青年の船」事業への参加

根岸　知世（富山県）

今回の第 37 回「世界青年の船」事業への参加は、私にとって海の上で世界と出会う特別な時間でした。特に印象深かったのは、広大な海に囲まれた環境の中で、改めて世界の広がりを実感できたことです。普段、私たちは陸の上で生活していますが、地球の約 7 割は海で覆われています。船上で水平線に囲まれて過ごす中で、その広大さや静けさを肌で感じました。そして「海の上から世界を見る」という視点を初めて実感しました。陸を離れ、水平線に囲まれた環境で各国の青年と共に生活し、対話を重ねる日々は、普段の国際交流とはまた違う深い経験でした。船内ではディスカッションや自主活動等を通して、多様な価値観に触れる機会が多くあり、自分の考えを英語で伝える難しさと同時に、それが通じた時の喜びを強く感じました。また、互いの活動を称え合う温かい雰囲気の中で、国や立場を越えて人がつながることの力強さを感じました。船の上という限られた空間で過ごした日々は、自分自身を見つめ直す時間にもなり、今後どのように社会に関わっていきたいのかを考える大きなきっかけとなりました。この経験を決して一過性の思い出にするのではなく、この船で得た視野や出会いを大切にしながら、これからも社会に向けて自分にできる行動を続けていきたいと思います。

白山市の小学生とデンマーク🇩🇰の青年の国際交流合宿

能瀬　仁美（石川県）

石川県立白山青年の家(社会教育宿泊施設)で
令和 7 年 3 月 28 日～29 日に白山市の小学生とデンマーク🇩🇰の青年の国際交流合宿がありました
企画されたのは、白山市にお住まいのデンマーク出身の女性(日本人と結婚され、3 人のお子さんの母)
私は内閣府青年国際交流事業:地域コア事業(デンマーク派遣)がきっかけで、社会教育施設に勤務させてもらえることになったと思っています。
石川県青年国際交流機構-の自主活動としてはなかなか活動が難しい状況にありますが、事後活動とは、このように自分に与えられる目の前の事を、ひとつ、ひとつ、させてもらうことだと思って毎日を過ごしています。
今回は施設職員として、エコバック作りを担当させてもらいました。国際交流を企画される方がいて、その利用施設の職員として一緒に時間を共有させてもらうことができて、嬉しかったです。ありがとうございます！

「青年の船」下船から５０周年を迎えて

～第８回青年の船 50 周年記念東京大会～

川除　新一（富山県）　第８回青年の船（1974 年）
開催日　2024 年 11 月 10 日（日）
場　所　ホテル東京ガーデンパレス
早いもので第８回青年の船を降りてから５０余年を迎える事になりました。紅顔の青年が後期高齢者となり月日の進み具合が早いのを改めて感じております。この船の経験は私の人生のまさに分岐点になりました。希望であった海外営業への転籍、さらに２０年近くの海外生活など。
第８回の船は横浜を出港した後は、パプアニューギニア、オーストラリア、ニュージーランド、フィージーを回り、１０人一組の班、３０班で編成され（内女性の班は１０班）寄港地で一人の OM（Overseas Member）が追加される構成でした。
「第８回青年の船」で特筆されるのは、下船後毎年船の同窓会が毎年４７都道府県で行われたこと、これは同乗した鷲尾管理官が陰ながら応援して下さったお陰でした。その管理官も一昨年の１１月５０回記念の全国大会（東京）出席された後、鬼籍に入られました。船で得られた友人は私にとって掛け替えのないものです。当時の青年の船は全国からいろいろな職種の若者が集まってきました。中には必ずしも国際交流に関心のない
者もいましたが、船内教育、また寄港地の活動を通じ、海外との交流に目覚めたように思います。国全体が内向きになっているように感じられる現在こそ、この様な企画があってもいいのではないでしょうか。

第 4 回世界青年の船リユニオン
『32 周年ハンガリー・ブダペスト』＆『5 月 10 日　ありがとうにっぽん丸』
日南田　美幸（富山県）

国内だけでなくて、海外青年が主催となり、リユニオンを開催しているのは第 4 回の特徴かと思います。繋がることの尊さを身に染みて感じている世代だからかもしれません。
海外でのリユニオンでは、1 オマーン・マスカット(2008)にはじまり、20 周年は 2 スペイン・マドリード(2012)、30 周年は 3 エジプト(2022)、そして 4 ハンガリー・ブダペスト(2024)にて開催。各地では趣向を、凝らしたプログラムが企画されています。前回のブダペストで、三浦 NL もオンライン参加のもと 2027 年は 5 東京での開催が決まりました。
リユニオンでは、それぞれの国、分野で世界船の経験を活かし活躍している様子を見聞きすることは、大きな刺激とエネルギーをもらいます。遠方のため、なかなか参加が難しいこともありますが、最近はオンラインという文明の利器により、リユニオンの際に、画面越しに再会も可能になったことは時代の恩恵で素晴らしいことと思います。

また、2026 年 5 月 10 日『にっぽん丸引退セレモニー』の際も、横浜で集まり、オンラインで海外のメンバーも参加しました。三浦 NL、管理官、管理部の方にもご参加いただきました。

にっぽん丸引退の日に、再び集まる機会をいただき、『にっぽん丸』に感謝を伝え、お見送りできたことは、大変ありがたく、感慨深い一日となりました。

2025 年大阪・関西万博と「世界青年の船プログラム」

2025 年 10 月 5 日（土）～7 日（月）

日南田　美幸（富山県）

SWYAA Oman（オマーン「世界青年の船」事後活動組織）が関西万博で 10 月 5 日から 7 日まで「サステナビリティ・ウィーク」を開催。

1 日目は持続可能な社会のためのセミナーやポスターセッション、2 日目、３日目は、世界青年の船プログラム紹介、来場者へのオマーン文化体験が実施されました。多くの来場者との交流が図られ、オマーンファンが、いっきに、増えたことと思います。ボランティアとして参加させていただき、船内プログラムを思い出す、貴重な体験でした。また、オープニングでは『「世界青年の船」オマーン参加記録 1990 年～2025 年 “Sailing and Fascination”』（第 2 版）の出版披露もされました。

「世界青年の船」の歴史パネル

こちらの QR コードからダウンロードできます

Day	Activity	Objective	Location
Day 1 Sunday 5th October 2025 16:30 - 19:00	Sustainable Development Goals Sessions (in conjunction with SDGs Week at Expo2025)	Highlighting the role of youth and youth programs in achieving the SDGs (e.g., the Ship for World Youth program)	Commons - E, EXPO 2025 (near the Omani Pavilion)
	Launching of the 'Sailing & Fascination" Book, which documents 35 years of Omani participation in the World Youth Ship	An introduction to the history of Omani participation in SWY and the extended Links between Oman, Japan, and the world.	
Day 2 Monday 6th October 2025	SWY Oman Corner	• Showcasing the experiences of Omani graduates from the Japanese global program "Ship for World Youth" • The role of youth in Omani-Japanese relations (soft power)	Omani Pavilion, EXPO 2025
Day 3 Tuesday 7th October 2025			

IYEO 都道府県幹事退任のあいさつ

樋口　敦子（長野県）

このたび、IYEO 北信越ブロック幹事（H29 年度～30 年度）に続いて務めてきた地方担当幹事（R2 年度～3 年度）・都道府県幹事（R4 年度～7 年度）を退任することになりました。幹事としては、役員研修、ＩＹＥＯラーニングプログラム、全国大会・ブロックイベントのあり方検討、キャリアデザインセミナー、IYEO 戦略など多くの運営に携わらせていただきました。 IYEO での活動を通じて、多くの出会いと学びに恵まれ、私にとって大切な時間となりました。幹事としての役目は一区切りとなりますが、これからも長野県での活動には関わり続け、地域に根ざした国際交流を少しずつ前に進めていきたいと考えています。 世界情勢が不安定で大きく変化する中、IYEO も新しい方向性や行動が求められる時期を迎えています。これからも皆さまと力を合わせながら、活動をより良いものにしていければ嬉しく思います。 今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

SWY 同期のキャビンメイトの結婚式に参加
ギリシャ・コルフ島にて

長野 IYEO が支援し建設された SAKURA
体育館を訪問　ネパール・リサンク村にて

５　お知らせ

令和８年度全国大会 奈良大会

日時：2026 年 9 月 12 日（土）
＜第１部＞　13:00～16:45 開会式、パネルディスカッション、分科会、閉会式
＜第２部＞　17:00～21:00 事業参加報告会、特別講演、懇親意見交換会
開催形式：ハイブリッド形式（対面&オンライン参加【zoom】）
会場：奈良春日野国際フォーラム甍～I・RA・KA～

IYEO 設立 40 周年記念アルバム

「IYEO 40 周年―継承と挑戦―」が完成！

IYEO 設立 40 周年記念アルバム実行委員会

ブロックイベント（ブロック大会）・全国大会

①　開催状況

ブロックイベント

1995（H 7）～石川→富山→新潟→長野→福井

2000（H12）～富山（全国大会兼）→石川→新潟→長野→福井→石川→富山→新潟
→長野（全国大会兼）→福井

2010（H22）～石川→富山→新潟→長野→福井→石川→新潟→富山→長野→福井

2020（R 2）～石川（企画するも中止）新潟（オンライン）富山（ハイブリッド）長野

全国大会

1992（H 4）福井→2000(H12）富山→2008(H20）長野→2016(H28）新潟

②　今後の開催について

令和 7 年度よりブロックイベントは、北信越ブロックと東海ブロック（岐阜・静岡・愛知・三重の４県）の合同枠（エリア）で持ち回りで開催されることになりました。令和９年度全国大会は、北信越ブロックと東海ブロック合同エリア内での開催として、愛知県で開催。

にっぽん丸最後の寄港地　名古屋港　特別プログラム開催

令和７年度「世界青年の船」事業

『愛知地域実践活動』実行委員会・IYEO 東海ブロック共催プログラム

2026 年 3 月 4 日（木）、船事業として最後の寄港地となる名古屋において、『愛知県地域実践活動』に関わる機会の提供を目的として、さまざまなプログラムが実施されました。

IYEO 会員交流ランチ会、にっぽん丸 OPEN SHIP およびお見送り、
東海ブロック主催「にっぽん丸との思い出を語り、内閣府事業の未来を語る会」など

※「世界青年の船」事業の「地域実践活動」は、「世界青年の船」の中で、参加青年が地域課題を実際の現場で学び、地域の人々と交流しながら、課題解決について考えるプログラムです。令和７年度地域実践活動は愛知県で、地域訪問活動は沖縄県で実施されました。

能登半島地震報告　　2024 年 11 月 29 日

「令和 6 年能登半島地震」による被害に対する寄付金につきまして、皆様のご協力に心より感謝申し上げます。
使用用途につきまして、次の通り報告いたします。
寄付金 合計金額 ： 633,606 円
使用用途

① 地元で食料支援活動をしている団体 「元気な野菜たち のっぽくん」

② 金沢の銭湯「金石荘」
能登半島地震の発生直後から被災者支援を続けている。無料の入浴支援のほか、２次避難所として宿泊の受け入れも。断水で入浴できず、行き場所のない被災者にとって、「命綱の湯」となった。

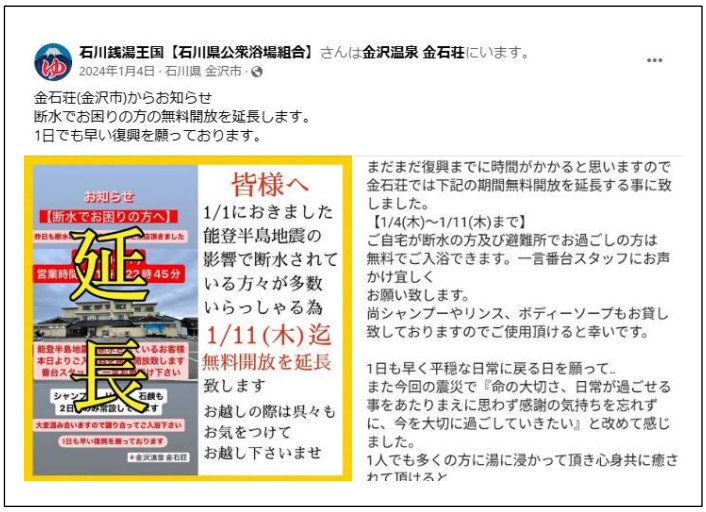
③ Ten Seeds 演劇を通じて幅広く活動し、能登でも支援活動を実施している。

④ NGO アジア子どもの夢
地震発生翌日から現地入り。現在もの被災者支援を行っている。現在は、週に 1 度から 2 度のペースで､罹災した海の近くのイベント広場でフリーマーケットを開き、住民の方との交流。活動物資の提供、必要であれば現金の提供、大規模な炊き出しも実施。 必ず現地を訪れ、聴き取り等を通して必要な物を把握し、自身の手で物資や義援金を現地まで届けることを大切にしている。
12 月 1 日（日）には能登地震継続支援チャリティーコンサート を開催。

石川県青年国際交流機会長　薄井 壮登志
石川県青年国際交流機構副会長　能瀬 仁美
北信越ブロック幹事　日南田 美幸
都道府県担当幹事　樋口 敦子

寄付団体
① 地元で食料支援活動をしている団体 「元気な野菜たち のっぽくん」

② 金沢の銭湯「金石荘」



③ Ten Seeds

④ NGO アジア子どもの夢

「にっぽん丸」引退

「にっぽん丸」は 37 年の航海を終え 2026 年 5 月 10 日に引退
1990 年就航以来、内閣府国際交流事業「世界青年の船」や「東南アジア青年の船」で、様々な国から多くの青年がこの「にっぽん丸」に乗船し、プログラムを通じ、貴重な体験をしました。

IYEO 40 周年「ありがとう にっぽん丸」クルーズ

横浜港から名古屋港
2025 年 12 月 18 日から 19 日

今回多くの方々のご尽力で、『ありがとう。にっぽん丸』クルーズが実現しました。当日は晴天に恵まれ、300 名の参加者が船内イベントを通して感謝の気持ちを伝え、思い出に思いを馳せました。

「にっぽん丸」引退セレモニー

横浜大桟橋
2026 年 5 月 10 日
引退の日、横浜港大さん橋に次期世代の「三井オーシャンフジ」とともに並んだにっぽん丸。お見送りに 7000 人もの人たちがターミナルに集まったそうです。

・・・日本青年国際交流機構（IYEO）とは・・・
内閣府（総理府・総務庁）主催等国際交流事業の既参加者で構成する団体です。各県内に組織があり国際交流・協力・多文化共生等の事業を開催し、みなさんと世界をつなぐお手伝いをしています！

編集後記

2024 年から 2026 年活動記録をまとめたものです。前号からまた活動量が増え、ボリュームもアップしました。

この時期、当ブロックにとって大きな出来事が、石川県で発生した能登半島地震です。全国の皆さまから温かいご支援をいただきましたことに、改めて心より感謝申し上げます。

今回、各県の活動を改めてまとめてみることで、それぞれの地域でさまざまな活動が行われていることを実感し、IYEO の底力を改めて感じました。

新しく参加された方が、事後活動について知る一助になればと思います。

新潟県青年国際交流機構　会長　田窪　美帆
https://www.facebook.com/niigataiyeo/
富山県青年国際交流機構　会長　飯田　良智
https://www.facebook.com/toyama.iyeo/
石川県青年国際交流機構　会長　薄井　壮登志
https://www.facebook.com/ishikawa.iyeo/
福井県青年国際交流機構　会長　小林　仁志
https://www.facebook.com/fukuiiyeo/
長野県青年国際交流機構　会長　新井　美貴子
https://www.facebook.com/nagano.iyeo/

発行　日本青年国際交流機構北信越ブロック
日南田　美幸（北信越ブロック幹事）